

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部政策企画課	■担当係	秘書係
■評価事業名称	姉妹都市及び友好都市交流事務		
■事業開始年度			
■評価事業コード	010100 - 703	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	03 国際化に対応したまちづくりの推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称	北上市姉妹都市・友好都市委員会要綱		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	姉妹都市・友好都市委員会の開催、姉妹都市及び友好都市等の情報交換、交流事業の実施。姉妹都市・友好都市の交流促進を図るため姉妹都市・友好都市委員会を開催し、情報交換及び交流事業の実施について協議検討。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	姉妹都市及び友好都市交流事務	市民等	・姉妹都市・友好都市委員会 開催1回	・姉妹都市・友好都市委員会 開催1回
02	石垣市友好都市交流事業(政策企画課)	市民等	・石垣島まつりに北上翔南高校鬼剣舞部派遣・石垣島マラソン参加・みちのく芸能まつりに石垣市訪問団来訪	・石垣島まつりに北上翔南高校鬼剣舞部派遣・石垣島マラソン参加・みちのく芸能まつりに石垣市訪問団来訪

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	126	1,500	2,206	4,873	
人件費	1,727	458	2,767	1,982	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,853	1,958	4,973	6,855	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	交流事案件数	16	19	14	16	コンコード市1件、三門峡市1件、柴田町3件、流山市3件(受入1件、流山まつり、姉妹都市締結式)、石垣市5件(職員交流、石垣島まつり)

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

					り、石垣島マラソン、物販、高校生派遣)、小金井市1件、江東区2件、中国洛陽市0件、秦野市0件、ニュージーランドマタマタ市0件	
02	北上市姉妹都市・友好都市委員会の開催	1	1	1	1	姉妹都市・友好都市委員会開催数1回
03	姉妹都市・友好都市との親善交流					実施交流事業/交流目標値

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

都市間で毎年順調に交流を重ねており、民間、行政それぞれの相互の友好関係の構築に寄与している。

問題点・課題等

周年事業を翌年に控え、民間レベルの一層活発な交流を盛り上げるための仕組みが不足している。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

基金を活用した仕組みの整備や民間団体との連携による交流促進を行う。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了